KEYWARE SOLUTIONS

キーウェアソリューションズ株式会社

東証スタンダード市場 3799

IT can create it.

2027年３月期　第２四半期(中間期)

決算説明資料

2026年11月17日（火）に、
社長による説明動画の掲載を
予定しております。

※本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。
※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

目次 |

1．エグゼクティブサマリー

2．2027年３月期 第２四半期(中間期) 業績概要

3．中期経営計画の進捗、今後の施策

4．2027年３月期 通期業績予想

5．株主還元

6．資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

7．参考資料

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

1．エグゼクティブサマリー

エグゼクティブサマリー

KEYWARE SOLUTIONS

2027年3月期 2Q

✓ 前年同期は上期の売上構成比が例年より高かったものの、当期は従来の下期偏重の計画であり、前年同期比で減収。本社移転関連費用の増加などにより減益

売上高	営業利益	中間純利益
10,301 百万円	92 百万円	△59 百万円
前年同期比 3.9%減	前年同期比 69.4%減	前年同期比 —

2027年3月期（予）

✓ 上期は概ね計画通りに進捗。下期偏重の計画のもと、通期予想の達成を目指す

売上高	営業利益	当期純利益
24,000 百万円	1,200 百万円	810 百万円
前期比 5.6%増	前期比 6.1%増	前期比 1.0%増

株主還元充実

✓ 株主優待制度の優待品目変更（2027年３月末日基準より変更）

年間6,000円分のQUOカードから年間6,000円分のデジタルギフト®※へ変更

※株式会社デジタルプラスが提供するデジタルギフト®を指します。

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

2．2027年３月期 第２四半期(中間期) 業績概要

2027年３月期 第２四半期 業績概要

- 前年同期に一部大型案件の開発が集中した影響などにより減収
- 本社移転費用の影響もあり、減益。中間純利益は損失を計上
- 上期は概ね計画どおりに進捗。下期偏重の計画に基づき、通期予想の達成を目指す

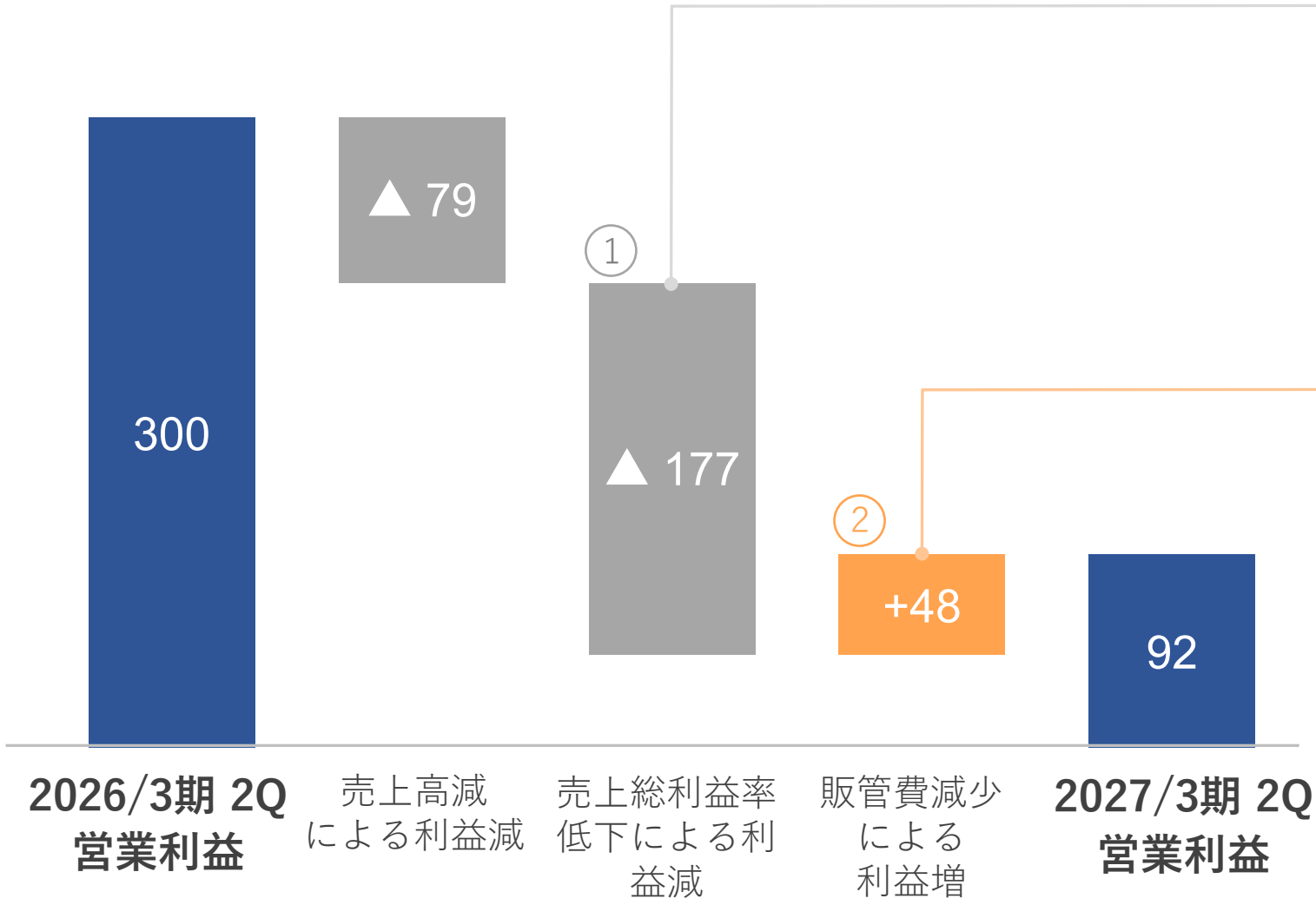
（百万円未満切捨て）

	2026年３月期 2Q	2027年３月期 2Q	前期比	概況
売上高	10,721	**10,301**	**△3.9%**	前年同期比では減収となるも、通期予想に対しては概ね計画どおりに進捗
システム開発事業	6,433	6,095	△5.3%	前年同期に一部大型案件の開発が集中した影響などにより減収
SI事業	3,101	3,018	△2.7%	ERP系案件縮小や顧客都合による開発着手見送りなどで減収
売上総利益	2,015	**1,758**	**△12.7%**	売上高の減少や本社移転関連費用の増加などにより減益
売上総利益率	18.8%	17.1%	△1.7pt	
営業利益	300	**92**	**△69.4%**	販管費は減少したものの、売上総利益の減少により減益
営業利益率	2.8%	0.9%	△1.9pt	
経常利益	350	**109**	**△68.7%**	営業利益の減少に伴い減益
親会社株主に帰属する中間純利益	224	**△59**	—	本社移転に伴う繰延税金負債の計上などにより法人税等が増加
受注高	10,518	**10,460**	**△0.5%**	公共系や小売・卸業向け案件の拡大などにより、前年同期並み
受注残高	6,310	**5,795**	**△8.2%**	案件の進捗に伴う売上計上などにより減少

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

営業利益変動要因

（単位：百万円）



1 売上総利益率低下の主な要因

本社移転関連費用の一部を売上原価に計上したことなどにより低下

2 販管費減少の主な要因

本社移転に関わる費用、人件費等は増加したものの、前期末に計上した移転費用引当金の一部戻入などにより、全体では減少

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

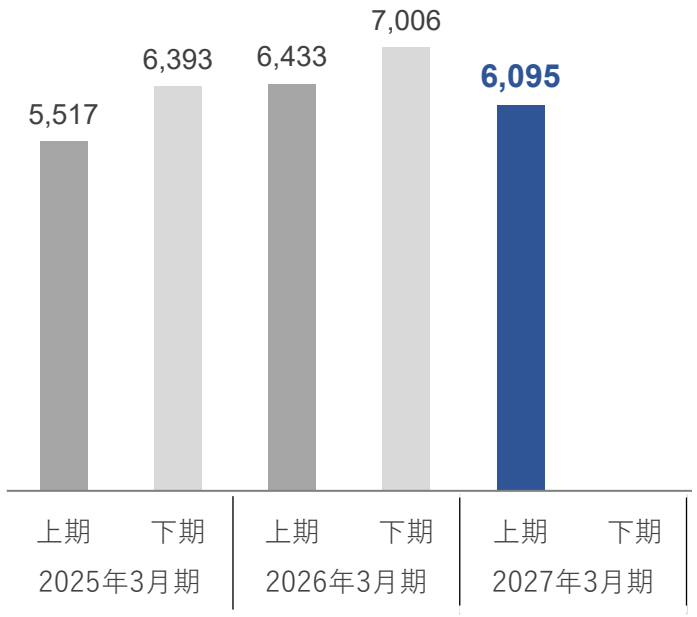
事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

システム開発事業

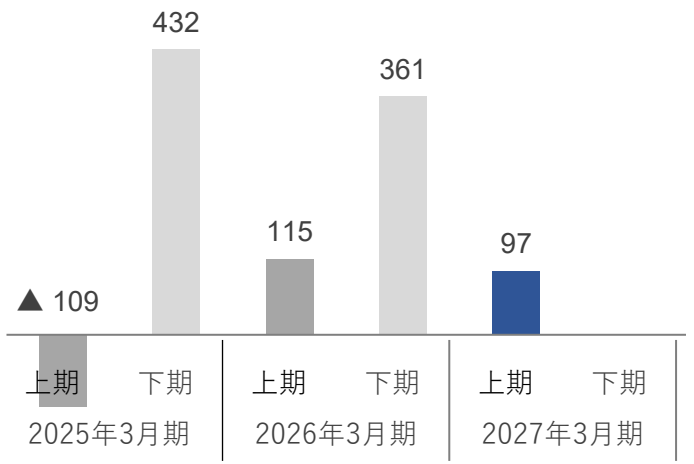
前年同期に大型案件の開発が集中した反動などにより減収。本社移転関連費用の増加などにより減益

- 売上高は前年同期比 △5.3%、運輸系では前期に受注した大型案件の開発が順調に進んだものの、IoT系の案件縮小が影響
- 営業利益は前年同期比 △15.4%、売上高の減少や本社移転関連費用の増加などが影響
- 受注高は前年同期比 △ 1.9%、公共系で案件が拡大したものの、運輸系・IoT系では前期の大型案件受注の反動が影響

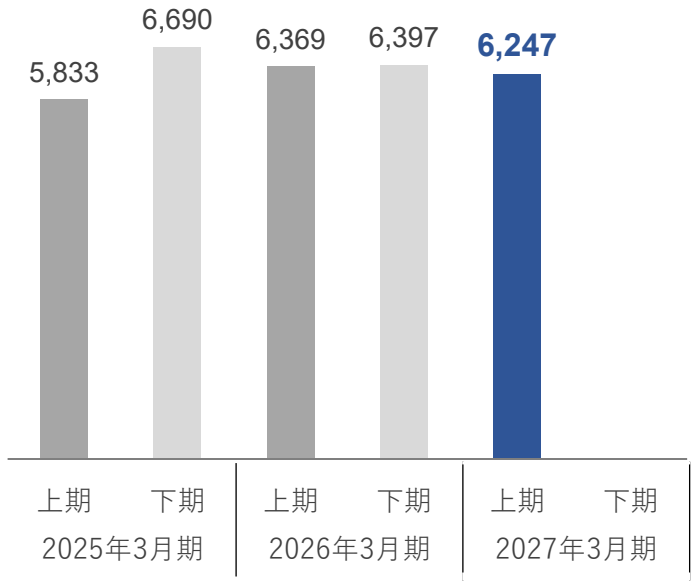
売上高（単位：百万円）



営業利益（単位：百万円）



受注高（単位：百万円）



*2026年3月期よりシステム開発事業の一部をＳＩ事業に移管しております。そのため、2025年3月期、2026年3月期ともに、組み換え後のセグメント区分で表示しています。

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

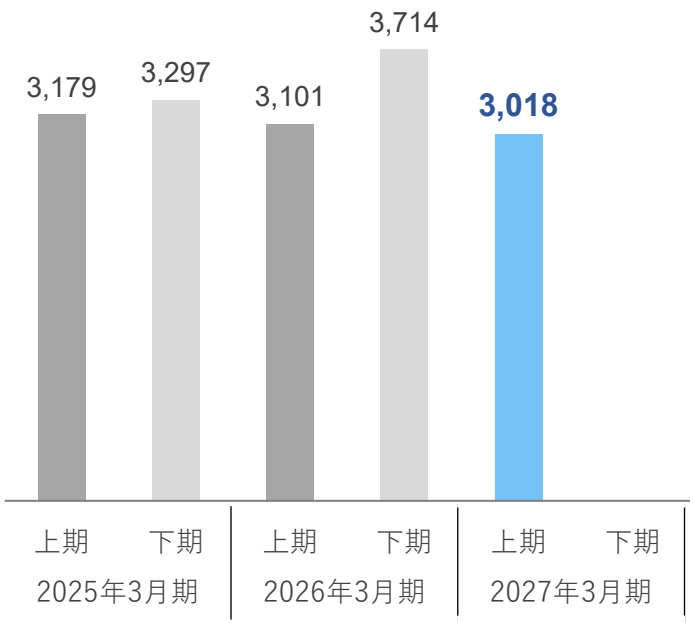
事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

ＳＩ事業

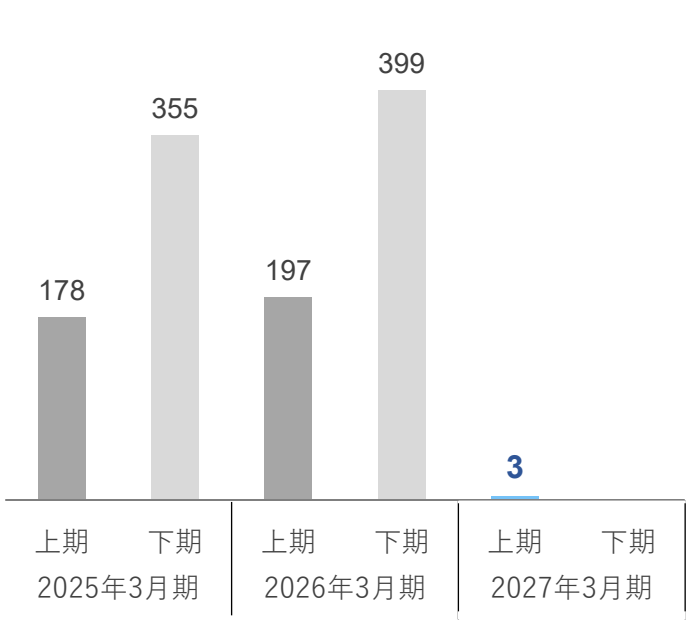
ERP系案件の縮小などにより減収、本社移転関連費用の増加などにより減益

- 売上高は前年同期比 △2.7%、ERP系の案件縮小や顧客都合による一部案件の開発着手見送りなどにより減収
- 営業利益は前年同期比 △98.4%、売上高の減少に加え、本社移転関連費用の増加や一部で品質強化対応に伴う作業増などにより減益
- 受注高は前年同期比 +3.1%、小売・卸向け案件の拡大やインフラ系での新規案件獲得が寄与

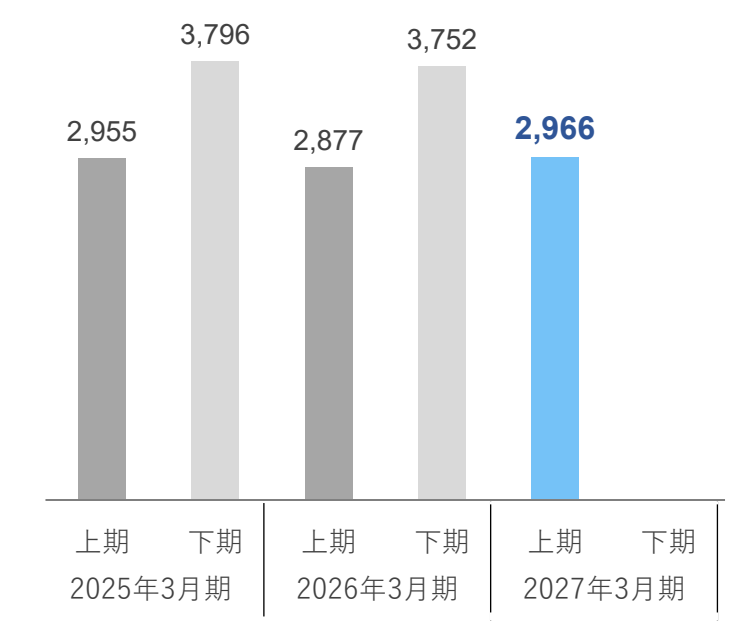
売上高（単位：百万円）



営業利益（単位：百万円）



受注高（単位：百万円）



*2026年3月期よりシステム開発事業の一部をＳＩ事業に移管しております。そのため、 2025年3月期、2026年3月期ともに、組み換え後のセグメント区分で表示しています。

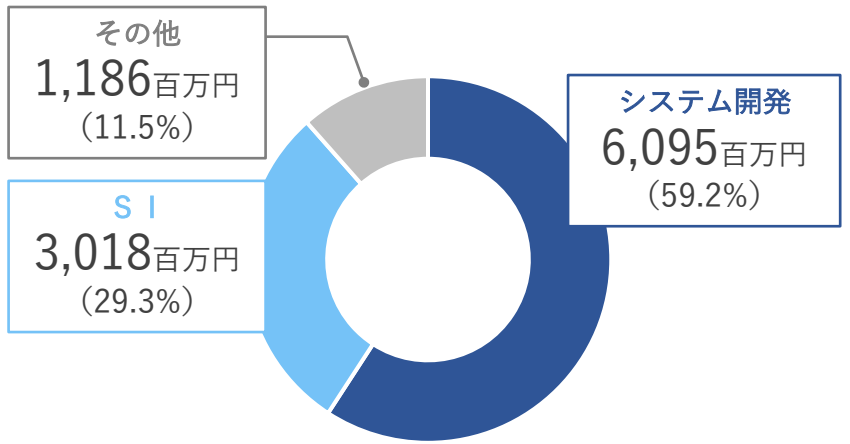
ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

事業区分別（セグメント別）構成比

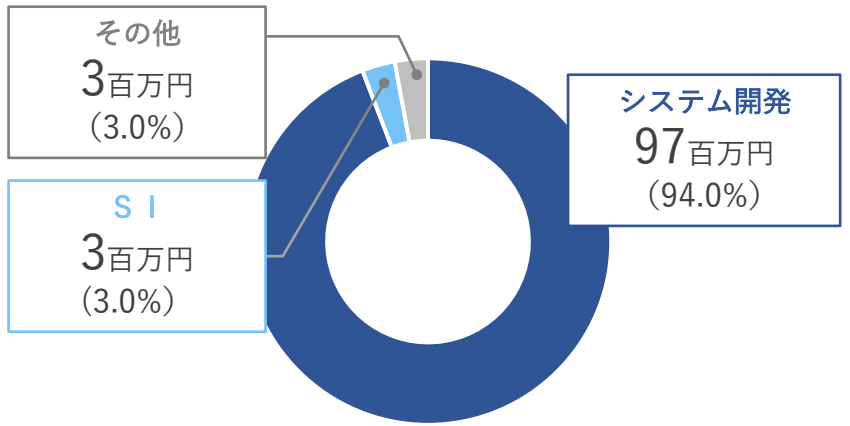
（単位：百万円）

		2026/3 2Q	2027/3 2Q	構成比
システム開発事業	売上高	6,433	**6,095**	59.2%
	営業利益	115	**97**	94.0%
	営業利益率	1.8%	**1.6%**	—
ＳＩ事業	売上高	3,101	**3,018**	29.3%
	営業利益	197	**3**	3.0%
	営業利益率	6.4%	**0.1%**	—
その他事業	売上高	1,186	**1,186**	11.5%
	営業利益	△5	**3**	3.0%
	営業利益率	△0.5%	**0.3%**	—

セグメント別売上高



セグメント別利益

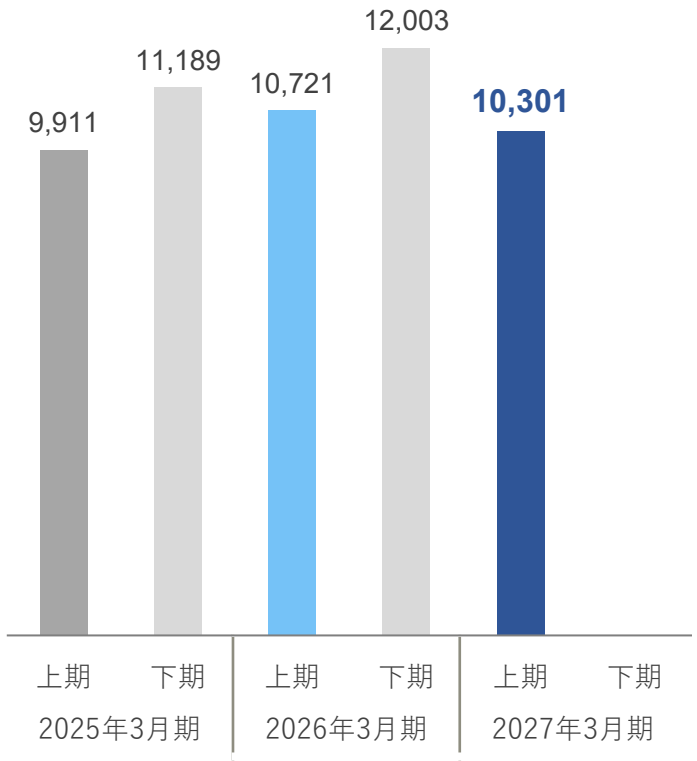


ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

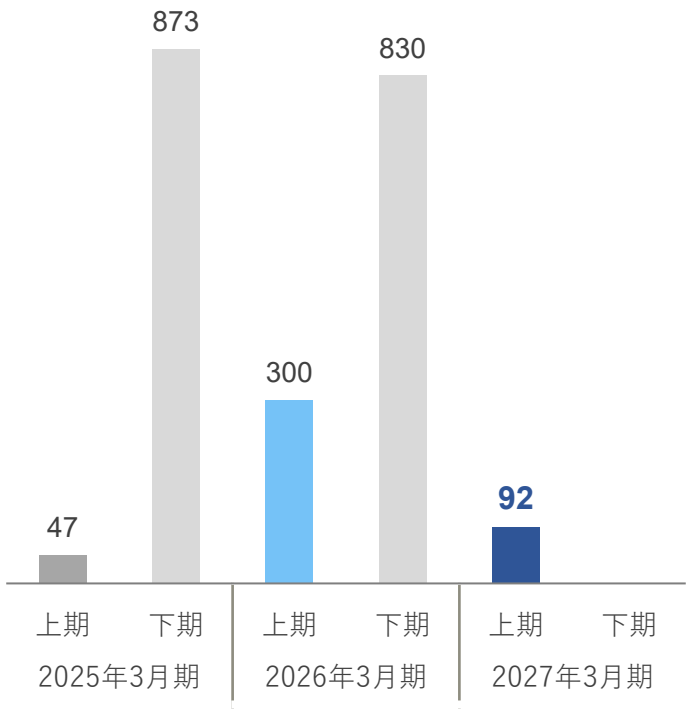
売上高・営業利益・受注高 推移（連結）

当期は従来の下期偏重の計画であり、特に第４四半期に利益が集中する見込み

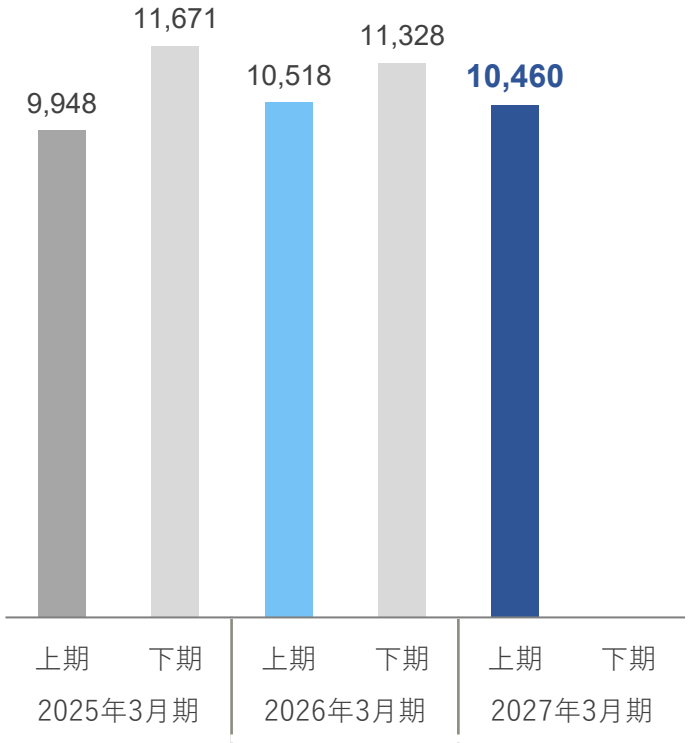
売上高 （単位：百万円）



営業利益 （単位：百万円）



受注高 （単位：百万円）



ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

3．中期経営計画の進捗、今後の施策

中期経営計画「Vision2026」概要

KEYWARE SOLUTIONS

「Vision2026」 5ヵ年中期経営計画
(2023年３月期～2027年３月期)

2027年３月期 業績予想値
※2026年5月15日公表

売上高	240億円
営業利益	12億円
営業利益率	5.0%
ROE	9.8%
ROIC	9.6%

基本方針

Ⅰ 基盤事業の質的転換	• プロダクト・クラウドサービスの活用拡大 • 請負案件の受注拡大 • 特定チャネルJEIS、KEL、CMJ*との連携強化 • 不採算プロジェクトの抑制
Ⅱ プライムビジネスの拡大	• プライム顧客の拡大 • 営業力・提案力強化（コンサルタントの育成等） • ソリューション提供力強化
Ⅲ 新領域へのチャレンジ	• 新領域への参入 (サイバーセキュリティ、デジタル金融、農業ICT領域等)

Phase2
基盤事業・新領域の成長拡大

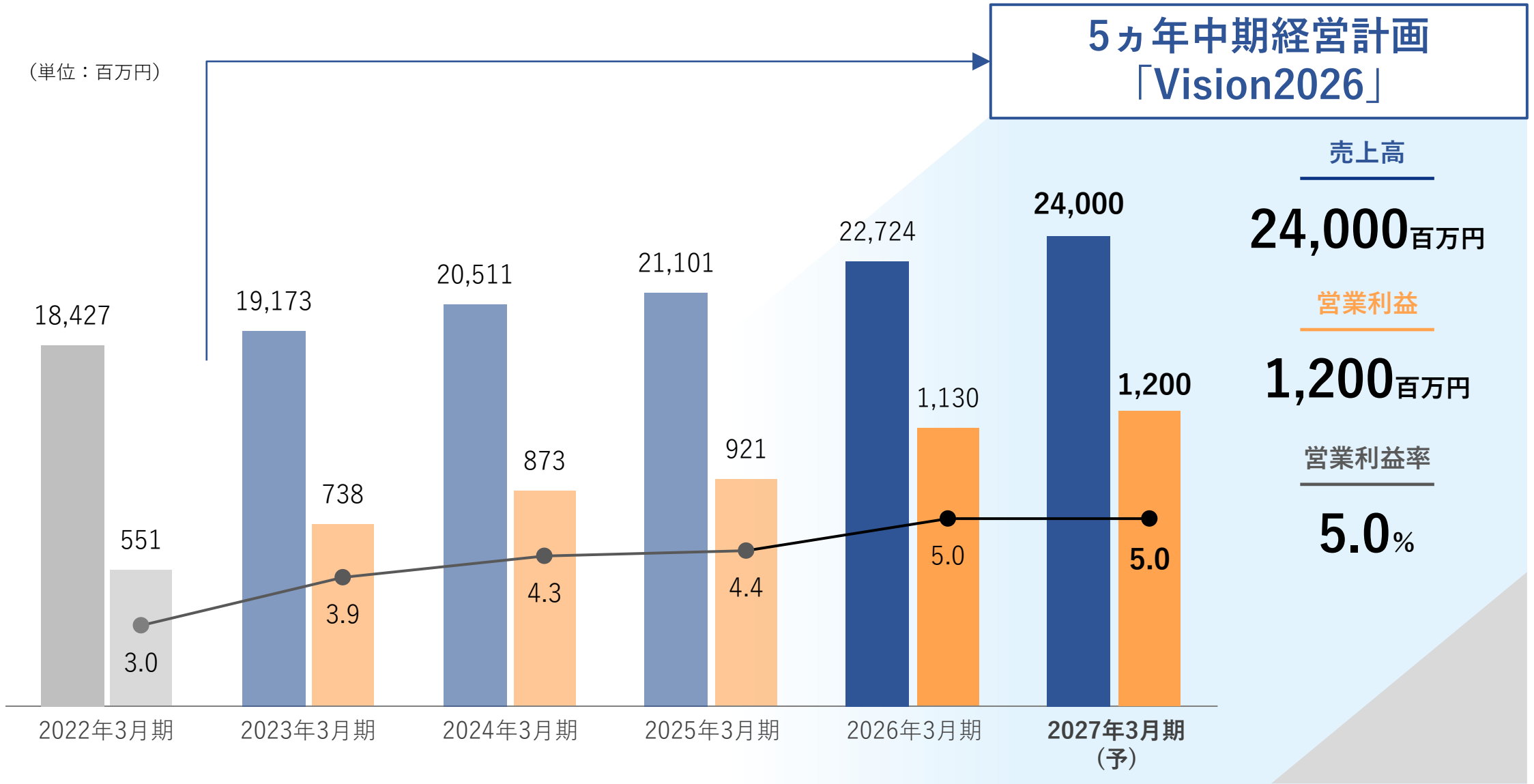
Phase1
事業基盤の強化・再構築

DX加速によるIT投資需要の継続 ～2026年度見通し

*JEIS：株式会社ＪＲ東日本情報システム　KEL：兼松エレクトロニクス株式会社　CMJ ：キヤノンマーケティングジャパン株式会社

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

連結業績推移



ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

中期経営計画の取り組み状況

行政･企業のDX推進や既存システム刷新を背景とした需要が継続。プロダクト･クラウドサービスの活用、プライム顧客基盤の拡大に加え、新領域の事業化に向けた取り組みも進展

	事業基盤の強化・再構築 Phase1(FY2022-FY2024)取り組み	基盤事業・新領域の成長拡大 Phase2(FY2025-FY2026) 進捗と今後の施策
基盤事業の質的転換	**事業基盤の強化と収益性の向上** • プロダクト・クラウドサービスを活用した開発手法の定着と対応力強化 （活用率50%超） • 請負案件の受注推進と特定チャネルとの連携強化 • 不採算プロジェクトを抑制	**高付加価値案件の拡大と収益性向上の加速** • プロダクト・クラウド活用の加速とフルスクラッチ開発からのシフト拡大 • 請負案件の受注拡大と業務提携先を通じた案件拡大 • 不採算プロジェクト抑制の継続（３期連続で発生を抑制）
プライムビジネスの拡大	**提案力の強化と顧客基盤の拡大** • ERPソリューションの対応領域拡大と提案力強化 • 課題起点の提案を通じた新規顧客獲得と顧客基盤の構築	**提供体制の強化と地域における案件創出の推進** • グループ会社の合併・事業統合による一貫提供体制の強化 • 岩手銀行との資本業務提携を通じた地域案件創出の推進
新領域へのチャレンジ	**新領域への取り組み推進** • サイバーセキュリティ、デジタル金融、農業ICTの各領域で取り組みを推進	**パートナー連携による事業参画の推進** • GSX*との資本業務提携を通じたセキュリティ事業の強化 • DAMS*との連携によるデジタル金融関連領域への参画 • 農業ICT領域での次世代型生産事業への参画

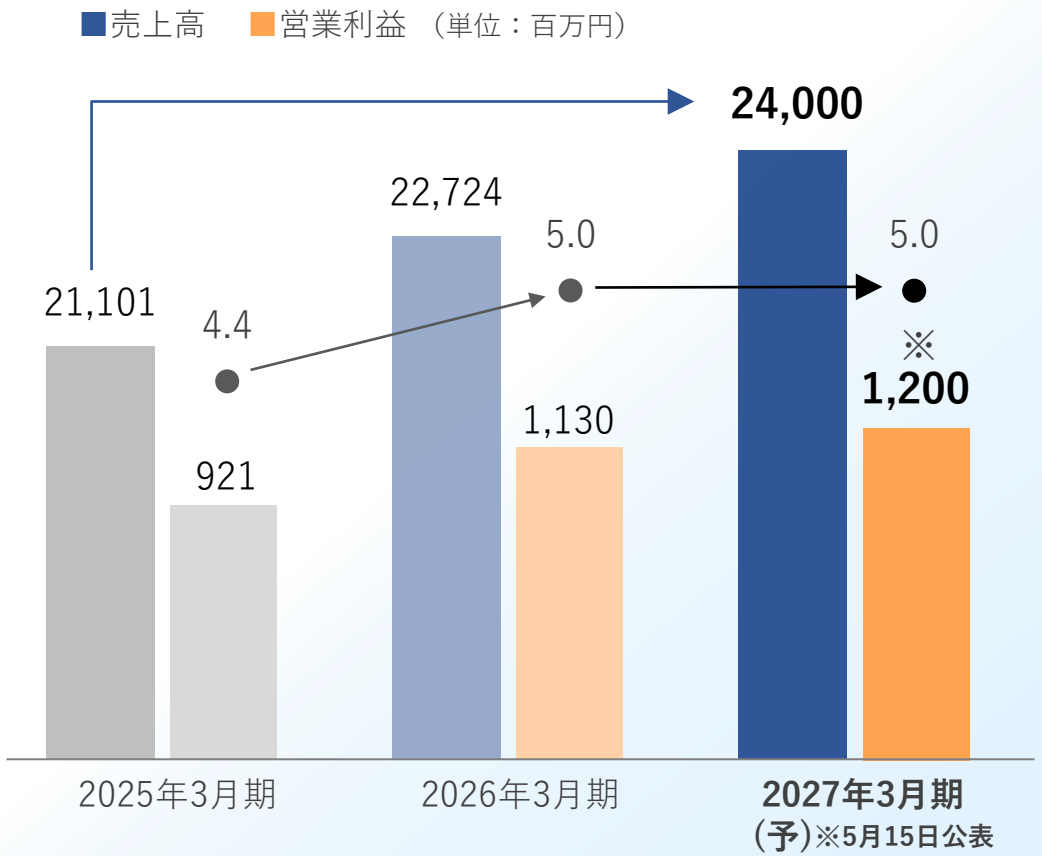
*GSX：グローバルセキュリティエキスパート株式会社　DAMS：株式会社デジタルアセットマーケッツ

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

中期経営計画達成に向けた売上高・利益拡大への施策

基本方針を軸とした各施策を一段と加速させ、売上高240億円、営業利益12億円の最終年度目標達成を目指す

Phase2 ｜ 基盤事業･新領域の成長拡大



※本社移転に伴う一時的な費用増加と、人的資本およびセキュリティへの必要投資により、営業利益目標を12億円へと見直し。

売上拡大策・要因

既存顧客の深耕

従来の取引部門での実績を起点に、他部門・関連組織への展開を強化

プライムビジネスの拡大

DX実現支援とERP導入提案を軸に、新規顧客獲得と提案機会拡大を図る

人材・パートナー体制の強化

社内エンジニアの育成と外部パートナーとの連携により、
受注機会の拡大に対応できる体制を強化

利益拡大策・要因

高付加価値案件の拡大

課題解決型の提案とエンジニアの専門性向上により、高付加価値領域への対応を拡大

開発生産性の向上

プロダクト・クラウドサービスやAI技術の活用により、開発効率化を推進

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

トピックス（1）

セキュリティ領域強化

GSXとの資本業務提携とAIセキュリティ人材の育成

資本業務提携概要

- 2026年９月30日、グローバルセキュリティエキスパート株式会社（GSX）と資本業務提携契約を締結
- GSXが兼松エレクトロニクス株式会社(KEL)から当社株式600,000株を取得（議決権割合7.17％）
  ※KELとの資本提携は解消、業務提携は継続
- セキュリティ関連製品・サービスの販売連携、人材連携、人材育成を推進

AIセキュリティ教育

- 当社・グループ会社のエンジニア150名を対象に、GSXの教育を実施
- 生成AI活用に伴うリスクへの理解を深め、AIを活用した開発力とセキュリティサービスの提供力を強化

KEYWARE SOLUTIONS
- 顧客基盤
- システム構築/運用力
- 業種・業務ノウハウ

×

GSX GLOBAL SECURITY EXPERTS
セキュリティ分野の
・専門性
・製品・サービス
・人材育成の知見

サイバーセキュリティサービスの提供力強化・事業機会の拡大

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

プライム事業拡大に向けた取り組み

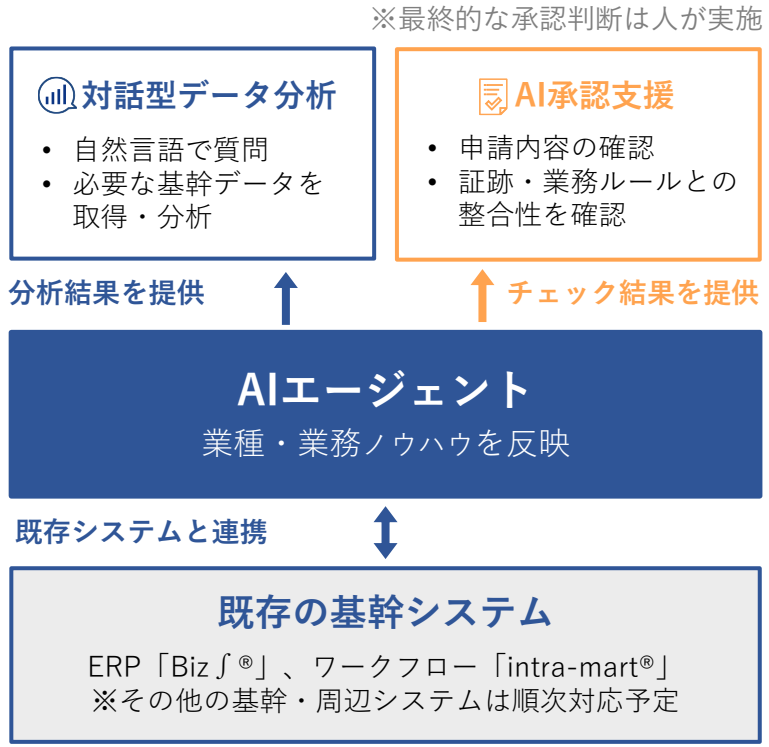
基幹業務向けAIエージェントソリューションを開発、2027年５月頃に提供開始予定

概要

- 基幹システムのデータを活用し、意思決定や業務上の確認・判断を支援するAIエージェントソリューションを2027年５月頃に提供開始予定
- 既存の基幹システム環境を活かして導入できる構成とし、ERPパッケージ「Biz∫®」とのデータ連携および「intra-mart®」とのワークフロー連携を予定（その他の基幹・周辺システムは順次対応予定）

特徴・狙い

- 対話型データ分析とAIによる承認支援
- 既存の基幹システムを更改せずに導入可能
- ERP・基幹業務で培った業種・業務の知識を活かした回答・確認支援
- ローカルAIとクラウドAIを組み合わせ、セキュリティ要件への対応とAI利用コストを適正化
- 企業ごとの要件に応じたAI利用の管理・統制を支援



ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

トピックス（3）

事業基盤強化

本社移転により働きやすい環境を整備し、生産性向上と事業基盤の強化を図る

概要

- 2026年８月17日、新本社で業務開始
  移転先：東京都新宿区 新宿イーストサイドスクエア19階
- 移転対象
  - 当社、キーウェアメディカル株式会社、株式会社オーガル

移転の目的

- 働きやすい環境の整備により、業務効率化と生産性向上を推進
- 社員間の交流を通じて、新たな発想やイノベーションの創出を促進
- 交通利便性の向上により、人材確保と営業力を強化



新本社 執務スペース

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

トピックス（4）

新領域へのチャレンジ

AI・農業ICTを活用した次世代型農業への取り組み

オーガルが出資先の合同会社継とともに整備を進めてきたキュウリ生産施設『**未来グリーンファクトリー木城**』が完成

概要

- 2026年10月13日竣工（宮崎県児湯郡木城町）
- 約1.5haの高度環境制御型園芸施設
- 10月下旬から栽培開始、年間約700トンの出荷を予定

AI・農業ICTの活用

- 養液栽培・環境制御システムを導入
- 栽培環境データとAIを活用
  - ▶ 生産管理の高度化、作業負担軽減、品質・収量の安定化を目指す

オーガル（当社連結子会社）の役割

ITコンサルティング／ITシステム構築／データ分析／運用支援

▶ 出資先である継の生産体制の確立を支援



生産設備外観



生産設備内観

ITと農業の知見を融合し、農業の生産性向上と持続可能な農業経営を支援

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

セグメント別 上期の概況 ＜システム開発事業＞

システム開発事業

期初見通し	上期の概況
行政・公共関連を中心に、システム開発需要は底堅く推移	**行政・公共関連の需要は想定通り、引き続き底堅く推移**
■ 引き合い件数に加え、案件規模も拡大傾向	■ 新規大型案件の引き合いは多く、下期の受注獲得に向けて提案活動を推進 ■ 資本業務提携先のＪＲ東日本情報システム（JEIS）との取引は堅調に推移。従来の取引部門以外にも拡大
プロダクト・クラウドサービスを活用した開発需要が継続	**ServiceNow関連の需要が堅調に推移**
■ ServiceNow案件の需要も堅調に推移する見込み	■ ServiceNow関連: グループ会社との連携による対応体制の強化を進め、事業拡大を目指す

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

セグメント別 上期の概況 ＜ＳＩ事業＞

ＳＩ事業

期初見通し	上期の概況
ERPを活用した基幹システム構築案件を中心に、需要は底堅く推移	**ERP関連需要は、引き続き底堅く推移**
■ Biz∫関連では、複数の前期受注案件が今期開発工程に入り、売上寄与を見込む	■ Biz∫関連：一部で顧客都合による開発着手見送りが発生。引き合いは多く、下期に新規顧客向け案件を受注 ■ 基幹業務向けAIエージェントの開発を進め、基幹業務におけるAI活用の提案活動を推進
クラウド・セキュリティ関連需要が継続	**クラウド構築案件および関連の需要が継続**
■ クラウド関連のほか、サイバーセキュリティ対策支援でも需要が継続	■ セキュリティ分野：GSXの教育プログラムを通じた専門人材の育成を推進。資本業務提携によりサービス提供力を強化

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

4．2027年３月期 通期業績予想

2027年３月期 通期業績予想

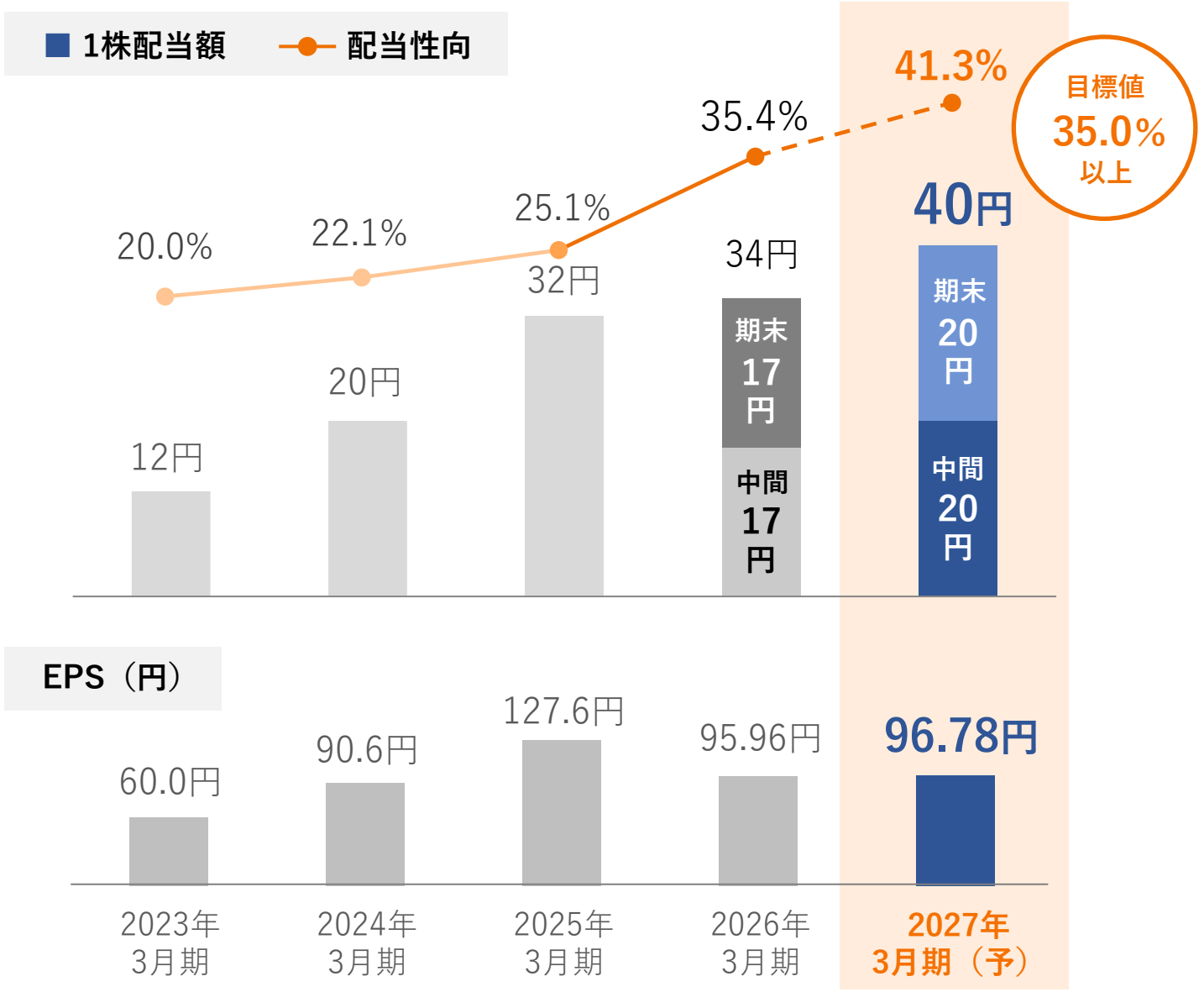
- 売上高は、既存顧客における継続的な開発需要、およびDX推進を背景とした開発需要の取り込みにより、5.6%増収見込み
- 営業利益は、移転費用・人的資本等への投資増を見込むものの、売上高増加・開発効率向上により、6.1% 増益を計画

（単位：百万円）	2026年３月期	2027年３月期	前期比
売上高	22,724	**24,000**	**+5.6%**
営業利益	1,130	**1,200**	**+6.1%**
営業利益率	5.0%	5.0%	+0pt
経常利益	1,196	**1,230**	**+2.8%**
親会社株主に帰属する当期純利益	801	**810**	**+1.0%**
1株当たり当期純利益	95円96銭	**96円78銭**	**+0.9%**

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

5．株主還元

配当金



2027年３月期

配当性向35%以上の方針のもと、
６円増配の40円を予定

1株当の配当額

中間	20円
期末	20円(予想)
合計	40円（予想）

基本方針

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置づけております。配当につきましては、業績や財務状況、今後の事業展開、経営環境などを総合的に勘案したうえで実施していくことを基本方針としております。

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

株主優待制度(優待品目の変更)

2027年3月末日基準より、「QUOカード」から「デジタルギフト®」※1へ

◻ 優待品の選択肢を拡大し、株主さまの利便性を向上

対象となる株主さま

300株以上を６ヶ月以上継続保有されている株主さま※2

※2：保有条件、基準日、優待金額は変更なし

基準日	優待内容 (変更前) ※3	優待内容 (変更後)	年間優待額
毎年３月末日	QUOカード 3,000円	デジタルギフト®3,000円相当	**6,000円相当**
毎年９月末日	QUOカード 3,000円	デジタルギフト®3,000円相当	

◻ 選べる交換先の例（交換先は変更となる場合があります）

Amazon ギフトカード/Google Play ギフトコード/PayPayマネーライト/楽天ポイントギフト/QUO カード Pay/ d ポイント 他

※3：2026年9月末基準の優待は、従来どおり(QUOカード 3,000円分)

株主還元策
（年間）

ご参考｜
300株保有株主様の場合

		中間	期末	合計
配当 **（2027年３月期 予想）**	３単元（300株）	6,000円	6,000円	**12,000円**
株主優待	３単元（300株）	3,000円	3,000円	**6,000円**
参考情報	３単元（300株）での投資必要金額※4　※4： 2026年10月29日終値			**324,300円**

※1：株式会社デジタルプラスが提供するデジタルギフト®を指します。

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

6．資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（１）

市場評価および資本コストについての現状認識

PBR　　：足元では１倍を上回る水準で推移

資本コスト　：８％～９％と認識(WACCベース)

資本収益性 目標

安定して資本収益性が資本コストを上回ることを目標とし、
企業価値の向上を図る

2027年３月期 予想値	ROE 9.8%	ROIC 9.6%

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（２）

取り組み方針

５ヵ年中期経営計画の着実な実行、成長投資、株主還元を通じて、
PBR1.0倍超の安定的な維持と、中長期的な企業価値のさらなる向上を目指します

事業戦略

- 基盤事業の質的転換
- プライムビジネスの拡大
- 新領域へのチャレンジ
- ROICを意識した事業の選択・集中

非財務戦略

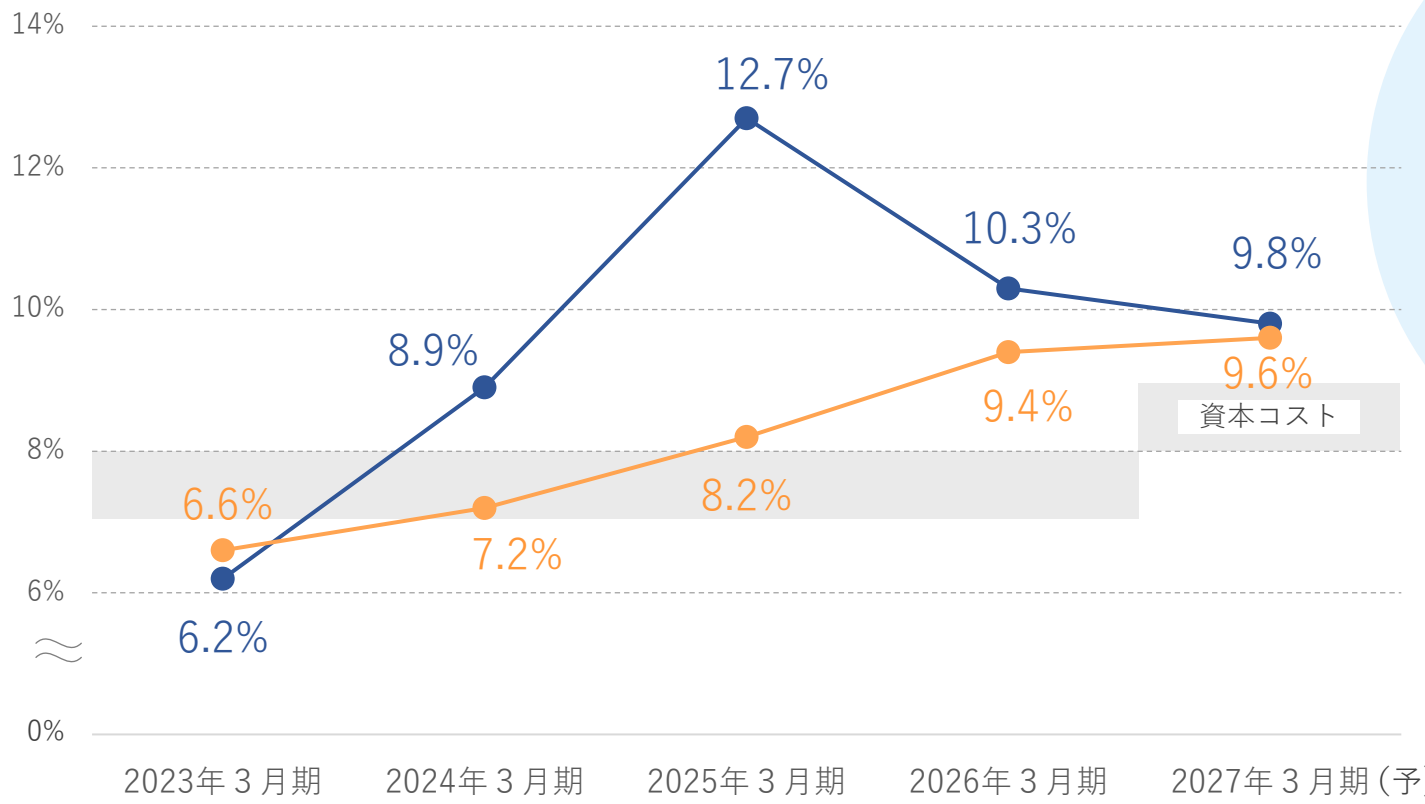
- 人的資本経営
- エンゲージメント向上
- サステナビリティ経営
- SDGsの推進

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（３）

ROE・ROICの現状と目標

2027年３月期 ROE 9.8%、ROIC 9.6%を目指す



2027年３月期 予想値

ROE **9.8%**

ROIC **9.6%**

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

キャピタルアロケーション

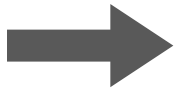
期間 ｜ 中期経営計画Vision2026 最終年度［2026.4～2027.3］

1年間

FCF
（フリーキャッシュフロー）
事業活動を通じた
創出キャッシュ

手許キャッシュの
利用

借入



成長投資

基盤事業強化

株主還元
（配当等）

成長投資

- 新領域への投資
- 研究開発への投資
- M&A

基盤事業強化

- AI、DX関連への投資
- 人的資本関連への投資
- 環境整備
  （セキュリティ関連、開発環境、事務所等）

株主還元（配当等）

- 継続的な配当
- 配当性向35％以上
- 株主優待

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

御清聴いただきありがとうございます

KEYWARE SOLUTIONS

本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、さまざまな不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

お問い合わせ｜E－Mail：ir@keyware.co.jp

7．参考資料

会社概要

社名	キーウェアソリューションズ株式会社
事業内容	1．システム開発事業 （アプリケーションシステムの構築に関する業務、および、インフラ関連のシステム開発に関する業務） 2．総合ITサービス事業 （システムインテグレーション業務/サポート・サービス業務/販売業務/パッケージ業務）
代表者名	代表取締役社長　三田 昌弘
設立	1965年5月
資本金	17億37百万円
売上高	227億円（2026年3月期・連結）
従業員数	1,300名（2026年3月末現在・連結）
主な法人株主	株式会社HBA 株式会社ＪＲ東日本情報システム キヤノンマーケティングジャパン株式会社 グローバルセキュリティエキスパート株式会社 住友生命相互保険会社 株式会社岩手銀行 株式会社三井住友銀行 （2026年10月2日現在）
連結子会社	キーウェア北海道株式会社　キーウェア東北株式会社　キーウェア西日本株式会社　キーウェア九州株式会社 キーウェアメディカル株式会社　株式会社クレヴァシステムズ　株式会社オーガル

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

沿革

Phase1

技術者派遣、受託開発で実績と評価を獲得

Phase2

総合サービスによる高付加価値事業へ

ロータス、ＳＡＰジャパンなど最新技術を持つ
テクノロジーパートナーと協業を開始

Phase3

**ITソリューションプロバイダーとして
更なる進化**

ISO9001、プライバシーマーク、 ISMSを業界の先駆けとして、認証取得し、他社をコンサルティングできる体制を確立

Phase4

**ジャスダック、東証２部上場
事業領域の拡大に向けて加速**

クレヴァシステムズを子会社化、
ＩＴ新時代に向けた積極的な取組み

1965年	• コンピュータの総合コンサルティング会社として日本電子開発株式会社設立
1974年	• 事務処理ソフトウェアモジュール技術研究代表組合理事となる
	• 宇宙開発事業団試験ロケット打ち上げをソフト部門で支援協力、宇宙開発分野でのソフトウェア開発事業を確立
1988年	• SI企業（第1期認定企業）として通商産業省より認可
1994年	• ロータスノーツなどのISV認定技術教育事業の開始　・SAPジャパン社との協業により、ERP（R/3）事業立上げ
1999年	• 品質マネジメントシステム（ ISO9001 ）を全社で認証取得　・ SAP　R/3自社導入
2000年	• プライバシーマーク制度認証取得
2001年	• 社名をキーウェアソリューションズ株式会社に変更　・ キーウェアサービス株式会社設立
2002年	• SAPジャパンより、SAP AWARD OF EXCELLENCE　４年連続受賞　・情報セキュリティマネジメントシステム（ ISMS ）の認証を取得（本社）
2003年	• 情報セキュリティマネジメントシステム（ ISMS ）の認証を取得（グループ全体）
	• キーウェア北海道株式会社、キーウェア西日本株式会社、キーウェア九州株式会社設立
2005年	• 環境マネジメントシステム（ JISQ14001：2004（ISO14001：2004） ）認証取得
2006年	• ジャスダック証券取引所に株式を上場　・資本金を１７億３７百万円に増資
2008年	• 東京証券取引所第2部に株式上場　・株式会社クレヴァシステムズを子会社化
2009年	• 東京証券取引所ディスクロージャー新人賞を受賞
2010年	• 株式会社NTTデータ イントラマートとBizソリューション販売に関する特約を締結　・Biz∫ AWARD 2010 秋において「Excellent Project Partner's Award」を受賞
2011年	• IFSジャパン株式会社とビジネスパートナー基本契約締結
2013年	• Biz∫ AWARD 2013 春において「Sales Partner's Award」を受賞
2017年	• 合弁事業会社「株式会社イーテア」設立　・Biz∫ AWARD 2017において「Excellent Award」を受賞
2018年	• ASTERIA Partner Summit 2018において「ASTERIA Contribution Award 2018」を受賞
2019年	• キヤノンITソリューションズ株式会社より「Web Performer 2019年度 エクセレントアワード」を2年連続受賞
	• 株式会社ＨＢＡと資本業務提携契約を締結　・テクノスデータサイエンス・エンジニアリング株式会社と資本業務提携契約を締結
2020年	• Biz∫ AWARD 2020 において「Excellent Award」を受賞
2021年	• 兼松エレクトロニクス株式会社と資本業務提携契約を締結　・キヤノンマーケティングジャパン株式会社と資本業務提携契約を締結
	• キヤノンITソリューションズ株式会社より「Web Performer 2021年度 エクセレントアワード」を受賞
	• Biz∫ AWARD 2021 において「Superior Award」を受賞　・株式会社オーガル設立　・株式会社ＪＲ東日本情報システムと資本業務提携契約を締結
2022年	• キーウェア東北株式会社設立
2023年	• キヤノンITソリューションズ株式会社より「WebPerformer 2023年度 DX推進アワード」を受賞
	• 株式会社NTTデータ イントラマートより「intra-mart Award 2023 Special Project Award」を受賞
2024年	• Biz∫ AWARD 2024 において「Excellent Award」を2年連続受賞
	• 株式会社NTTデータ イントラマートより「intra-mart Award 2024 Superior Partner Award」を受賞
2025年	• 株式会社NTTデータ・ビズインテグラルより「Biz∫ AWARD 2025 Special Award」を受賞
	• 株式会社岩手銀行と資本業務提携契約を締結
2026年	• キーウェアメディカル株式会社設立　・株式会社NTTデータ・ビズインテグラルより「Biz∫ AWARD 2026 Superior Award」を受賞
	• 株式会社NTTデータ イントラマートより「intra-mart Partner Award 2026 優秀賞」を受賞　・東京都新宿区に本社を移転
	• グローバルセキュリティエキスパート株式会社と資本業務提携契約を締結

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc

キーウェアグループ理念体系

パーパス

確かな技術と想像力で
未来の扉をひらく

IT can create it.



バリュー

未来の扉をひらく４つの鍵

Challenge

挑戦することは、成長と発展の鍵。
一歩踏み出そう、
新しい自分に出会うために。

Enjoy

楽しむことは、発想と想像の鍵。
心踊らせよう、
新たな価値を見つけるために。

Teamwork

チームワークは、笑顔と成功の鍵。
心をひとつにしよう、
大きな喜びを分かち合うために。

Integrity

誠実であることは、共感と信頼の鍵。
真っすぐに向き合おう、
強い絆をつくるために。

ALL Rights Reserved Copyright Keyware Solutions Inc